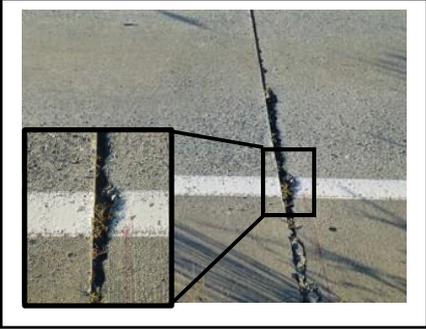
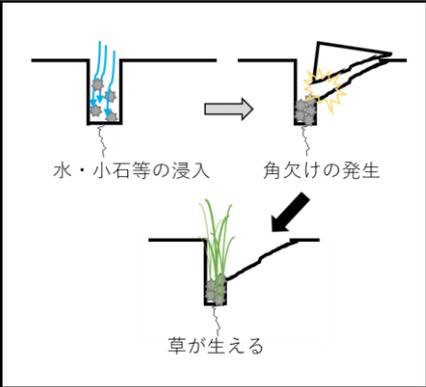
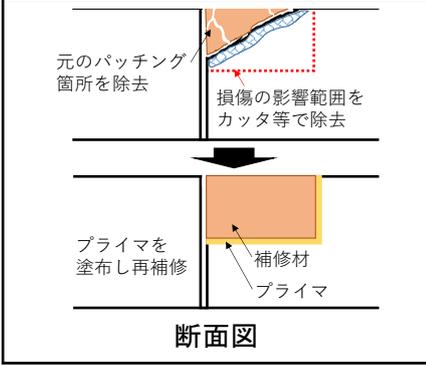


発生箇所	②横目地
分類	維持修繕
参考箇所	9-3-2(1) 目地材のはみ出し・飛散
<p><b>●内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>車輪走行部分の目地材が飛散し、若干の角欠けが発生している。また、目地材が消失している部分の一部には、草が生えている。</li> </ul>	
<p><b>●原因</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目地材が飛散した目地において再充填が不十分であったため、水・小石等が目地部に浸入し、角欠けが発生した。</li> </ul>	
<p><b>●発生防止策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適切な時期に点検を行い、目地材のはみ出し・飛散がみられた際は、確認次第速やかに再充填を行い、雨水の浸入を防ぐ。</li> </ul>	
<p><b>●発生した場合の対応策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>角欠け部について、脆弱部の除去やカッタ等により損傷の影響範囲を広く除去したうえでパッチングによる補修を行う。</li> <li>この際、既設コンクリート版との付着を考慮し、マイクロクラック浸透性プライマを塗布するなど付着を確保することが望ましい。</li> </ul>	 <p style="text-align: center;">断面図</p>